



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「ともに光の中を歩もう」	“Let Us Walk in the Light -Together.”
アジア地域会長主題	「ワイズ運動を尊重しよう」	“Respect Y' s Movement”
西日本区理事主題	「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」 “Healthy mind & healthy body make healthy club”	
中部部長主題	「愛し合い、助け合い、心はいつも青春！」	
金沢クラブ会長主題	「語り合おう 伝え合おう 楽しいワイズライフを」	

2017 12 月間強調 EMC-E YES

今月の聖句

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。

ルカによる福音書 2 章 11 節

12 月強調月間

E は新クラブを設立すること。YES は新クラブ設立支援に使われます。献金で集められた資金の 3 分の 2 は、集められたエリアの区で使われます。

三科仁昭 EMC 事業主任
 (京都東稜クラブ)

12 月例会 プログラム

とき	2017 年 12 月 21 日 (Thu.) 18:30~20:30		
ところ	金沢ニューグランドホテル		
会費	¥5,000 (会員は無料)	¥3,000 (メネット・学生)	
	司会	山本浩一郎君	
開会・点鐘		幸正一誠会長	
主 題	司 会 者	一 同	
ワイズソング	一	同	
ゲスト紹介	司 会 者	一 同	
讚美のとき			
説 教	金沢長町教会	加藤孔二牧師	
食前の感謝		伊藤仁信君	
親睦のとき	山内ミハルさん・メネット会		
	参加者紹介・ゲーム・ハッピーパーティー		
委員会報告	各 委 員		
ニコニコタイム	朝倉みゆきさん		
	YMCA 国際協力募金のために		
Y M C A の 歌	一	同	
閉会・点鐘		幸正一誠会長	

11 月 クラブ活動状況

第 1 例会 (11 月 16 日 Thu.)

メ ン：朝倉、伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水
 西、山内 (8 名)
 メイクアップ：山本 (浩) (1 名)

出席率：90%

充足率：120%

メネット：伊藤、数澤、澁谷 (3 名)

ゲスト：宮田悠佑君 (1 名)

第 2 例会 (11 月 2 日 Thu.)

メ ン：伊藤、数澤、幸正、澁谷、山内 (5 名)

メネット：数澤 (1 名)

ニコニコタイム

11,000 円

クラブファンド 累計 328,000 円

B F ポイント

切手 0 g 累計 950 g

現金 0 円 累計 0 円

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30

金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311

第二例会：毎月 1 日 18:30~20:00

金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

会 長	幸正一誠	書 記	山内ミハル
副会長	澁谷洋太郎	会 計	伊藤仁信
直前会長	西 信 之	メネット会長	山本典子

金沢ワイズメンズクラブ 70 周年の記念に思う

澁谷洋太郎

ブリテン 12 月号の執筆にあたり、何を書こうかと思いついて、ふっと滋賀蒲生野クラブのブリテンを思い出し、幸正会長の執筆内容が良かったなあと思ひ、記憶がよみがえってきました。滋賀蒲生野クラブと言えばDBC姉妹クラブであります。

滋賀蒲生野ワイズメンズクラブと金沢クラブのDBC締結の成り行きを 70 周年の大きな出来事として記憶をたどりながら書きたいと思います。

1991 年 6 月 8 日～9 日、第 46 回大会での出来事、当時は日本区は東西日本区に分区しておらず、大会の開催地は伊豆の下田でした。小生はワイズメンになって 2 年目のひよこでありながら会長でありました。当然大会初参加です。ワイズメンの良いところは小さくならず自由に動けるところです。今回は神宮弘メンと一緒に。新幹線で熱海まで行き、伊豆急行で下田へと向かっておりました。周りを見るとワイズとおぼしき人が何人かおられました。関心事は沿線の海岸風景です。堪能しておりますと下田に近づいてきました。降りる用意をと網棚のバックをとろうと、神宮メンが立ち上がると横からスット手が伸びて「どーぞ」との声。神宮メンと二人で「ありがとうございました」とお礼を言い、名前も聞かずに別れてしまいました。

大会が始まり夜の懇親会は下田港遊覧の船上パーティーでした。船の名は確か「サスケハナ丸」日本国開国への大きな働きをした下田の港での船上パーティー！期待して楽しんでおりました。その時一団の人が近づいてきてハッと気づいたのは、電車の中でバックをとってくださった方でした。ここで初めて滋賀蒲生野クラブのメンバーと顔合わせをしたのです。豊島正利メン、井ノ上温代メン、三原茂靖メンなどなど。話がはずみ蒲生野クラブは設立 2 年目のクラブで、女性メンが半数近くおられるクラブであると知りました。

話し合ううちに設立 50 年の金沢クラブと 2 年目の新しい蒲生野クラブが手を組んだら、面白いクラブ活動ができそうだと、お互い持ち帰ってこの話を意義あるものにしようとなりました。私も入会 2 年目の新米会長ですので、先輩メンに良く説明をしなければならぬ、神宮メンがおられたのでホッとしておりました。

帰って例会で話の内容を説明して締結の合意をとりました。締結式は 47 回大会で東京九段会館で行われ神宮、山谷、小笠原メンと次期理事森田恵三メンが立ち会ってくださり、金沢クラブと蒲生野クラブのDB

C がスタートしました。

両クラブはともに奇しき出会いを大切に、継続して行きたいと願います。

【11 月例会の報告】

11 月例会「10 年後に自動車革命はどうなるのか」

西 信之

中国では 2018 年から NEV（新エネルギー車）を採用し、ガソリン車の販売を大幅に規制する。ノルウェー・オランダは 2025 年から、インドは 2030 年、そして日本も恐らく 2030 年にはガソリン車の新規販売を大幅規制するであろう。10 年後 2028 年はそれほど遠くは無い。



NEV とは、電気自動車・燃料電池車・プラグインハイブリッド車である。中国はガソリンエンジン車のノウハウを有しておらず、より簡単な電気自動車で世界の自動車大国を目指そうと言う訳である。インドでも最近スズキ自動車がトヨタと協力し、大規模な EV 工場を建設すると発表した。このように、世界は EV を主体とする NEV への方向転換へと大きく舵を切り替えていくように見える。

では、電気自動車の問題点は何だろう。エンジン車から EV に移行すると、経済産業省の試算では部品点数は 3 万個から 1 万 9000 個と約 4 割が不要になる。まずエンジン本体だ。シリンダーブロック、シリンダーヘッドといった大型の鋳物から、ピストン、コンロッド、吸気バルブ、排気バルブ、点火プラグなど小さな部品まで含めると数千点に上る。それ以外にラジエター等の冷却系、オイルフィルター等の循環系、触媒などの排ガス浄化装置やマフラーなどの装備品も不要である。また、大きな部品では変速機が不要だ。これらの部品が不要になれば、1 次、2 次の協力メーカーは、場合によっては会社ごと不要になる。つまり、自動車会社が抱える多くの下請け会社が潰れる。どれほどの従業員が職を失うかはわかりも知れない。愛知県、三重県、岐阜県、静岡県、石川県にも多くの下請け企業があり、社会的・経済的打撃は計りしれない。

EV 自体の問題点も多い。EV は、充電に大容量の電気を必要としている。この電気は、石炭・石油を中心とした火力発電により発電しており、大量の CO₂ を排出する。もし、日本の自動車がすべて EV になったら、もう 10 基の原子力発電所が必要となると言われている。また、電池は消耗品で有り、交換に高額な費用を払わねばならない。

将来的には、風力発電等の自然エネルギーで水を電気分解して電気を水素として蓄え、これを利用する燃料電池自動車や家庭用発電機の普及が理想的である。日本中のガソリンスタンドが水素ステーションに変われば、彼らの雇用も維持される。

10 年後に起こるとされる自動車革命は大きな混乱を招くが、我々はこの革命により CO₂ の排出を回避し、自動運転機能を備えた新しい自動車を手に入れようとしている。

~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆クリスマス例会

12 月例会はクリスマス礼拝と祝会となります。

当日はプレゼントの交換を行いますので、一人一個 500 円程度のプレゼントをご持参下さい。

なお、ニコニコは YMCA 国際協力募金として金沢 YMCA より日本 YMCA 同盟に送金します。

☆1 月第二例会について

新年 1 月第二例会は、下記の日程で行います。お間違えのないようお願いします。

日時：2018 年 1 月 5 日（金）18：30

場所：金沢ニューグランドホテル トレド

☆中部第 2 回評議会・第 21 回中部合同メネット会

11 月 18 日（土）～19 日（日）湯涌温泉「お宿やました」に於いて開催しました。

① 評議会には、中部山内ミハル部長、西信之書記、伊藤仁信会計、数澤輝夫事務局長、数澤淑子メネット主査、金沢クラブ幸正一誠会長の 6 名が参加しました。

メ ネット 報

嵐のなかの芋煮会

11 月 4 日（土）、最悪のお天気となりましたが、今年も恒例の芋煮会が内川スポーツ広場で開催されました。みんなそれぞれの持ち場で準備にかかりましたが、今年のかまど大将の伊藤メンが腰を痛めているため、弟子たち？が張り切っかまどを担当して下さったのですが、順調に行きすぎて鍋の準備が出

各事業主査及び各クラブ会長から、上半期の活動報告と今後の活動計画について報告があり、続いて 2016-2017 中部決算報告、ワイズ将来構想特別委員会からの基本計画案及び次期中部役員候補についての議案が提出され、承認されました。

② 中部合同メネット会には、中部山内ミハル部長、伊藤仁信会計、数澤輝夫事務局長、数澤淑子メネット主査、金沢クラブ幸正一誠会長、朝倉みゆき、伊藤悦子、澁谷洋太郎、澁谷節子の 9 名が参加しました。西日本区の役員、大野理事、遠藤次期理事、進藤書記、中道メネット主任他 5 名の神戸クラブメネットさんの参加を得て、楽しく有意義な一夜を過ごしました。（詳細はメネット報にあります）

☆ながまちふれあいフェスティバル 2017

～支えあう みんなの笑顔 ながまちフェスタ～

11 月 26 日（日）中央公民館長町館に於いて、日本 YMCA 同盟より YMCA 国際協力募金のパネル展示及び金沢 YMCA・金沢クラブ・金沢犀川クラブの活動紹介等の展示作品コーナーがあり、金沢クラブから澁谷洋太郎、朝倉みゆき、数澤輝夫と朝倉秀之 YMCA 理事長が参加しました。

当日の YMCA 国際協力募金は 675 円でした。

Kappy Birthday

朝倉みゆきさん	12 月 23 日
澁谷 節子さん	12 月 23 日

1 月の担当

聖句担当：澁谷洋太郎君
ブリテン執筆：朝倉みゆきさん
伊藤 悦子さん



来る前に、二つのかまどの火はごうごうと景気よく燃え「鍋はまだか！」と急かされる始末、最初からタイミングが合わなかったようです。さらにお芋が煮える前に薪を使い果たしてしまい、急遽バーベキュー用の炭を買って凌ぐという有り様でした。幸正会長が淹



れてくださった美味しいコーヒーで温まりながら鍋が煮えるのを待つが、途中から強風にも見舞われ、屋根があっても容赦なく横なぐりに吹き付ける雨の中、一時はどうなることかと途方に暮れました。過去の芋煮会でも雨に祟られた年もありましたが、今回が最悪の天気だったかも知れません。漸く貸し切り状態のレストハウスに移動して、あったかい芋煮鍋をいただくことができました。苦勞して炊き上がった落ち葉入りの芋煮鍋と五郎島金時の焼き芋は殊の外美味しくて心まで温まりました。今年も子供たちの参加はありませんでしたが、みんなお腹いっぱい食べて、お土産まで頂いて2時頃帰途につきました。参加者は朝倉夫妻、伊藤夫妻、幸正メン、澁谷夫妻、西メン、山内メン、山本浩一郎メン、数澤夫妻、金沢犀川クラブから北さんと平口さんが参加されました。

数澤 淑子 記

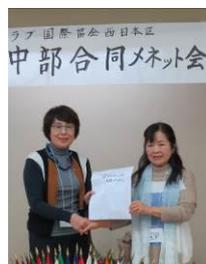
🍷 「第21回中部合同メネット会」を終えて

11月18～19日、「第21回中部合同メネット会」が湯涌温泉「お宿やました」で開催されました。つい3年前、山内メネット事業主査の時、金沢で「中部合同メネット会」を開催したばかりなのに、もう巡って来るとは早過ぎます。今回は特に「中部部会」と「金沢クラブ創立70周年記念式典」を9月に無事に終えてホッと安堵する間もなく、「中部評議会」と「合同メネット会」を同日に開催することになったので、この2カ月ばかり、心落ち着かない日々でした。評議会と同日開催であれば評議員の皆さんがメネット同伴で参加して下さるのではと淡い期待を持っていたのですが、残念ながら名古屋地区からのメネットさんの参加は叶いませんでしたが、名古屋クラブのメネットさんたちからの手作りのハーブティーとクリスマスカードのお心のこもったプレゼントが華を添えて下さいました。参

加メネットがない「合同メネット会」になることを心配しましたが、西日本区メネット事業主任の中道京子様はじめ神戸クラブのメネットさん6名の参加と、西日本区大野理事、進藤書記、大阪泉北クラブの遠藤次期理事、そして中部評議会ご出席の役員の皆様、計22名が金沢の奥座敷、湯涌温泉のさらに一番奥にある「お宿やました」に集い、「第21回中部合同メネット会」を開催することができました。ご参加下さった皆様に心から感謝申し上げたいと思います。



開会式に続いての講演会では、今期の「メネット事業国内プロジェクト」の事業方針に沿って、「子どもの貧困」について、特にこの地域での子どもたちの現状はどうなのかを学ぶために、地域で活動している講師をと思って調べたところ、「NPO金沢・能登



フードバンク」代表の津田たまえ氏を知りました。ご自身が重度の障害者でいらっしゃることをお聞きしたときは、会場が温泉のお座敷なのでご迷惑ではとちょっと躊躇しましたが、「大丈夫です」と快く講師をお引き受け下さいました。講演ではとても信じられないような事例をいくつもお聴きしました。まさしく生きる力を奪われている子どもたちが私たちの身近にいるという現実を知りました。「フードバンクはなくなることが一番幸せなこと」という言葉が心に残りました。しかし、6人にひとりの子どもの貧困といわれている現在、無関心ではいられないと思いました。今後のメネット活動の中で小さなことでも協力できる方法を考えてみませんか？

数澤 淑子 記

